

みしま 市議会だより

No.195

2022 2.1

今回の
定例会

11月

2月

6月

9月

主に11月定例会の
情報をお伝えします。



三島の昔の風景
…詳細は16ページをご覧ください

CONTENTS

| | |
|----------------|----|
| 11月定例会 議案審議の概要 | 2 |
| 市政に対する一般質問 | 5 |
| 議会報告会を開催しました | 10 |
| 2月定例会のお知らせほか | 16 |

令和3年 11月定例会

11月25日～12月10日

会期：16日間

■今回の議案は…

市長提出議案 10件

この号では次の項目を Pick up!

Pick up

〈議第62号〉
【令和3年度三島市一般会計補正
予算(第7号)】(全会一致)

■補正予算額
5億3,983万8,000円



詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。



Pick up

一般会計予算を
増額補正

市民生活の利便性の向上に努めます

○交通対策事業 300万円

コミュニティバスのルート変更等にかかる経費を増額します。

主な質疑

【質疑】市内循環バス「なかざと号」のルート変更の概要は

【答弁】中郷地域の自治会や住民からの意見や要望、さらには乗降調査やアンケート結果などを参考に、公共交通空白地域の解消と利用者増加を図るため、新たに御園、安久の地域や商業施設などを追加するルートに変更し、令和4年4月

から新たなルートで運行する予定。

【質疑】地域住民への周知と利用促進をどう図っていくか。また、新ルート運行後の検証方法は

【答弁】広報みしまや、市のホームページ、SNSを活用していくほか、沿線の自治会にご協力をいただき、チラシの回覧や運行経路周辺の商店などにチラシの配布をお願いし、地域に根差した公共交通を目指していきたいと考える。新ルートに変更することについての検証は、乗降調査やアンケートなどを実施し、利用者の状況



分析するとともに、三島市地域公共交通網形成協議会などにおいて、意見をいただいた上で、市民生活の利便性向上に努めていく。

○不妊・不育症治療費補助金 800万円

少子化対策の一環として、不妊または不育症の治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療にかかる費用の一部を助成するための経費を増額します。

主な質疑

【質疑】現在の出生数から見た成果をどう捉えているか

【答弁】補助金は、第1子および第2子の治療が対象となる。三島市では年齢制限を設けず、年度ごとに20万円を上限に、最大5年間まで補助している。出生数については母子手帳の発

行数から考慮すると、令和元年度が694人、令和2年度が647人と、減少傾向となっている。

しかし、多くの不妊治療が現在医療保険の適用外で本人負担が高額になるケースが多く、治療費を理由に不妊治療をあきらめる方もいるものと考えており、実際に県や市の補助制度があることを知り、治療を受けたという方もいる。妊娠率も30%程度となっている。一定の効果や意義はあると考える。

【質疑】不妊・不育症相談窓口との連携は

【答弁】不妊・不育症についての相談については、内容により県が設置している不妊・不育専門相談センターを紹介している。

また、この補助金制度を知らない方には、広報みしまやホームページ等で引き続き周知に努めるほか、市内および近隣市町の医療機関と連携し、補助金の利用促進を図っていく。

○市道維持修繕事業 1350万円

小学校等の通学路の安全対策を図るため、市道の修繕にかかる経費を増額します。

主な質疑

【質疑】事業の内容と点検状況は

【答弁】平成26年度に策定した、三島市通学路安全対策推進計画に基づき、危険箇所确保安全確保策として、修繕を実施しようとするもの。令和2年度からは小中学校の通学路等に加え、幼稚園や保育園の散歩道も対象としている。

点検状況については、毎年7月までに、各小中学校において教職員とPTA、スクールガードにより合同点検を行い、危険箇所を選定する。また、幼稚園等においては、職員が散歩などの園外活動において危険箇所を選定する。その後、学校教育課が取りまとめ、関係課による通学路等安全対策会議を行い、その内容に基づき、市道は土木課が対応し、必要に応じて、県土木事務所や警察と連携して、

グリーンベルトや横断歩道の補修などの安全対策を迅速に実施する。翌年度の合同点検において、対策済みの箇所について、効果検証を行うことで、安全確保に努めている。

なお、今年度は7月に通学路安全・見守り強化週間を設けるなど、さらなる安全確認と子どもの見守りを重点的に実施している。

【質疑】修繕内容と優先順位は

【答弁】令和3年度は市道23カ所、経年劣化や車両走行により薄くなった外側線やグリーンベルト等の路面標示を実施する。

また、市道10カ所で、通学路で歩行者を保護するポストコーン等を設置していく。

歩行空間を明確にする対策は、ドライバーに視覚的に注意を喚起する手段として有効であり、安全対策に繋がるものと考えている。

優先順位については、早期に安全確保するため、短期間で効果が望める、外側線およびグリーンベルトの整備を優先して進めていく。

主な質疑

【質疑】臨時財政対策債の増額理由と活用方法は

【答弁】普通交付税の算定を行う中で、基準財政需要額から基準財政収入額を差し引き、さらに国の財政状況により、地方に配分される普通交付税額を差し引いた額が、臨時財政対策債の発行限度額として通知される。

令和3年度の算定において、コロナ禍の影響は大きく、基準財政



○臨時財政対策債(歳入) 4億円

ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは...

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。

14人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

各地区中学校に障がい児特別支援学級開設を

他の質問事項

Q 出生児減で、施設増加から過剰・定員割れと政策の転換期に。園の統廃合と民営化、公私立定員管理等の課題解決に向け検討の場を。

A 保育所等の待機児童等がまだ解消されておらず、コロナ禍における入所控え等、地域ニーズを的確に把握することも難しい状況にあるため、現時点においては、先に策定した三島市公共施設保全計画個別施設計画に沿って適正配置や定員管理等を進めていきたい。



再開発工事での溶着掘削による地下水の影響

他の質問事項

Q 国・県から想定した補助額50億円のうち大半が未確定とのことだが、補助額が予定を大きく下回った場合にはどのように考えているか。

A 国・県の補助金等は、事業実施前年度に要望し、翌年度に交付決定を受ける。この手順により年度ごとの決定となるため、事業計画段階で補助金額が確定している事業はない。過去の事例を勘案すると、現在の補助金額の見込みを大きく下回ることはないと考えられる。

保育行政における2025年問題への対応策

Q 出生児減で、施設増加から過剰・定員割れと政策の転換期に。園の統廃合と民営化、公私立定員管理等の課題解決に向け検討の場を。

A 保育所等の待機児童等がまだ解消されておらず、コロナ禍における入所控え等、地域ニーズを的確に把握することも難しい状況にあるため、現時点においては、先に策定した三島市公共施設保全計画個別施設計画に沿って適正配置や定員管理等を進めていきたい。

三島駅南口東街区再開発事業成立要件の市民説明徹底を



大石 一太郎 (政和会)



候補地・南二日町広場の新庁舎建設の考え方を



石井 真人 (改革みしま)



Q 防水上リスクのある洪水ハザードマップの浸水エリア内の場所を、なぜ新庁舎の候補地として選定しているのか。

A 南二日町広場は、千年に一度の洪水浸水想定区域にあり、1・43m浸水する可能性があるが、建築制限を受ける災害レッドゾーンではないことから、都市機能誘導区域としている。市民会議では、これを前提に、この場所での希望が多く、候補地の一つに選定された。



収入額は、市税の減収などにより減少する一方、基準財政需要額は増加となり、令和3年度の財源不足は前年度より約11億1千万円の増加となる。

この算定結果をもとに、臨時財政対策債の借入限度額が令和2年度より約8億4千万円増加された。

用途や活用方法については、財政調整基金へ1億円積み戻し、コロナ収束を見据えた経済対策を始めたこととして今後の財政需要に備えるとともに、来年度以降の歳入不足に備え、活用していく予定。

質疑 臨時財政対策債の元利償還金に対する交付税措置の現況および今後の担保(見込み)は

答弁 元利償還金の交付税措置については、各借入年度の交付税法や特例法案などに明記されているため、今後の償還についても交付税措置は講じられる。

臨時財政対策債は平成13年度に制度化されて以来、その元利償還金については理論償還(実際の利率より高め)で計算されて、交付税措置がされている。

臨時財政対策債とは... 地方財政収支の不足額を補うため、各地方公共団体が特例として発行してきた地方債です。



〈その他、歳出補正予算の主な内容〉

- 職員構成の変動等による人件費 △1億1,055万1,000円
- 財政調整基金積立金 1億円
- 自立支援給付等事業 1億5,063万6,000円
- 三嶋大祭り補助金 △2,423万5,000円
- 富士山南東消防組合負担金 △5,283万円
- 予備費 3億3,348万9,000円

人事議案

【人権擁護委員】
土屋 賢太郎

11月定例会 議決結果

〈全会一致となった議案〉

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|-------|--|----|
| 議第62号 | 令和3年度三島市一般会計補正予算(第7号) | 可決 |
| 議第63号 | 令和3年度三島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 可決 |
| 議第64号 | 令和3年度三島市介護保険特別会計補正予算(第3号) | 可決 |
| 議第65号 | 令和3年度三島市水道事業会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議第66号 | 令和3年度三島市下水道事業会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議第67号 | 市道路線の認定について | 可決 |
| 議第68号 | 三島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議第69号 | 三島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 諮第2号 | 人権擁護委員の推薦について | 同意 |
| 議第70号 | 令和3年度三島市一般会計補正予算(第8号) | 可決 |

※全ての議案が全会一致となりました。



服部 正平
(日本共産党議員団)



埋め立て最終処分場の安全性に問題はないか
Q 賀茂之洞地内に整備された最終処分場第1、第3埋立地および新たな埋立地は大規模地震、局所豪雨などに耐えられる構造であるか。

A 第1から第3までの埋立地については、それぞれ建設時の設計基準に基づき建設されている。新規最終処分場については、震度7の大規模地震が発生した場合でも、構造計算上耐えられる耐震構造とすることや、防災調整池の設置を検討している。

投票率向上に向け投票所の利便性向上を
Q 有権者の利便性を最優先に考え、期日前投票所となっている商業施設における投票期間の日数を伸ばすことは可能であるか。

A 令和3年度に実施した期日前投票所の投票状況を鑑み、臨時期日前投票所の開催日数における拡充が必要かを検討していく。



佐野 淳祥
(緑水会)



带状疱疹ワクチン接種の助成事業の導入を
Q 市内に年間推計710人の带状疱疹罹患患者があり、10年では50歳以上の12〜16%の罹患率が推定される。ワクチン接種の助成の検討は。

A ワクチン接種することで、带状疱疹を予防することは意義があると考える。しかし、带状疱疹ワクチンは高額で2回接種が必要となることから、財政負担が大きい。国の定期接種化に向けた動向や他市町の状況などを踏まえ、調査・研究していく。



旧道(県道)の事故対策と交通安全

Q 構造的な問題、事故の多発地点、歩行者妨害が課題だが、県に強く働きかけるために、当該自治会と市協働で勉強会を開催できないか。

A 電柱を民地に移設することが可能であれば安全性は向上すると考える。地元自治会や関係地権者で開催する勉強会に三島市も参加してさまざまな課題を抽出し、安全対策への合意形成や協力体制が整った際には、地元自治会と連携して静岡県に要請を行う。

※旧道＝県道沼津三島線

他の質問事項

配慮の必要な子の保育環境へ支援充実を



甲斐 幸博
(緑水会)



大河ドラマ鎌倉殿の13人の観光誘客促進
Q 美しい伊豆創造センターはもとより、富士山周辺エリアとも連携を図り、どのように誘客促進を検討しているのか。

A 県や東部20市町と連携し、大河ドラマを契機とした消費喚起や、観光客の誘客を促進。伊豆地域では機運醸成や広域観光プロモーション事業を実施。大河ドラマの放送という好機を地域活性化に生かし、東部・伊豆および本市の経済振興を図りたいと考えている。

アフターコロナを見据えた今後の地域交通
Q 人々の暮らしを支える基盤として、現在の公共交通の利用状況および収支状況から見た、市内交通需要はどのように変化したのか。

A 公共交通の利用は緊急事態宣言が解除された10月以降についても厳しい状況が続いている。今後も公共交通を維持していくため、事業者を支援するとともに、地域住民のニーズの把握に努め、事業者と連携し、公共交通網の持続的な確保に努めていく。



古長谷 稔
(政和会)



朝のまち三島というイメージ戦略は可能か
Q 信用ある行政が発信すれば民間は動きやすいと考えるが、他市と差別化する新イメージ戦略として、朝のまち三島を打ち出せないか。

A 朝観光の推進は、滞在時間の延長や宿泊需要の拡大による観光消費額の増加、リピーターの確保や、朝行動の喚起による混雑の解消と時間の分散化につながる。夜観光と併せて、イメージ戦略の一環として朝観光をPRすることが有効かと考えている。



三島駅南口東街区再開発の組合理事に市が入らないのはなぜか

Q 約7割の土地を持つ三島市が、より責任ある立場で事業に関わるべき。東街区再開発事業の組合理事に入らない理由を伺う。

A 補助金を交付する市が、執行する立場の理事となることの弊害を避けるために、理事に就任していない。理事の立場でなくとも適切に事業を指導できていると考えているが、市が理事となることの必要性・適法性を改めて検証し、準備組合と協議したい。

他の質問事項

大場耕地の可能性調査を踏まえた今後の展望



佐藤 寛文
(無会派)



ゴミ減量と今後の施設計画
Q 新規の最終処分場予定地の近隣にお住まいの加茂町内会と富士見台町内会の皆さんへの説明をどのように果たし理解を得るのか伺う。

A パブリック・コメント募集期間中に新規最終処分場基本計画案の概要版を閲覧し、ご意見をお伺いする機会を設けている。住民説明会については、加茂町内会は令和3年12月25日に開催を予定、富士見台自治会には開催の可否を検討していただいている。



コロナ禍における財政運営
Q 令和3年度の税収について長引くコロナの影響でどのように推移しているのか、前年度および当初予算との比較を伺う。

A 令和2年度決算額175億1600万円との比較では、約5%減、8億円程度の減収を見込んでいる。当初予算169億2400万円との比較では、約1%減、2億円程度の減収を見込んでいる。これはコロナ禍の影響やコロナ特例措置等により減収となると見込んでいる。

他の質問事項

コロナ禍における市民生活への影響



河野 月江
(日本共産党議員団)



三島駅南口東街区再開発事業の進捗状況と今後の見通し

Q これまで市が方針を定めるとしてきた広域健康医療拠点にふさわしい医療機能のあり方について、せめて方針の方向性くらいはないか。

A 民間事業者の知見を活用する中で、市民生活の向上につながる医療機能としていく方針である。広域健康医療拠点の整備を通じたにぎわいづくりに向け、他の導入機能と相乗効果が生まれる医療機能の導入について、引き続き検討を進めていく。

Q 見直し案は、総事業費に占める補助金の割合が42.1%と事業協力者の最初の提案並みである。補助金額がさらに上がる可能性は。

A 工事費などの事業費が増加した場合、補助対象経費が増加し、補助金額も増加する可能性はあると考える。仮に増加したとしても、事業関係者と十分に協議・調整しつつ、補助制度にのっとった補助金額となっているか、適切に精査することが肝要であると考えている。



他の質問事項

ECI方式採用とその背景を市民に示さない理由



野村 諒子
(緑水会)



犯罪被害者等への支援体制

Q 三島市犯罪被害者等支援条例制定への取り組みが進められているが、犯罪被害者等に対する支援体制について伺う。

A 条例施行にあたり、関係各課の連携を強化するため、想定される犯罪被害者等支援に関係する課で情報交換会を行い、具体的な対応方法について情報共有した。また、適切な支援をするため、犯罪被害者等を保護する機関である三島警察署と連携を密にしている。

三島市における難病者等への就業支援

Q 障害者総合支援法により障がい者の定義に難病等が追加されているが、市における難病者等への就業支援の取り組みは何か伺う。

A 障害福祉サービスが利用可能となり、希望により相談支援事業所でのアセスメントを行った上で、就労移行支援や就労継続支援A型・B型による就労を目的とした生産活動等、就労に必要な知識や能力の向上に必要な訓練を行うサービス提供を行っている。



**他の質問事項
高齢者のスマホ・タブレット端末等の活用**



宮下 知朗
(新未来21)



通いの場の活動活性化に向けた情報発信

Q 年を重ねてもいきいきと暮らしていただくため、通いの場に関する情報を発信するなど、活動参加のきっかけづくりができないか。

A 市内全域の通いの場の活動内容や活動場所を1枚の地図にまとめた通いの場マップを令和3年度、新たに作成した。参加したいが参加に至っていない高齢者や通いの場の存在をご存じない高齢者、各種相談に訪れた高齢者に、このマップを配布し参加を促していく。



共創の実現に向けて相互理解と目的の共有

Q 共創の実現に向け、行政と民間事業者が互いの違いや立場を理解し、目的を共有することが重要と考えるが、どう取り組むのか。

A 先進市の事例なども参考に、本市の共創の指針を策定し、周知を図っていく中で、費用負担、役割分担や課題解決のプロセスについて、民間事業者の理解、協力を得られる制度設計を実現したいと考えている。

他の質問事項

地域で助け合い支え合ったための担い手育成を



沈 久美
(政和会)



みどりの食料システム戦略の下、三島でもオーガニック給食を

Q 農林水産省は同戦略により2050年までに有機農業作付面積を25%にする目標を掲げた。三島市における有機農業の現状を伺う。

A 2020年農林業センサス調査によると農業経営体483のうち有機農業に取り組んでいるのは35経営体で、その取組面積は2406アールである。また、環境にやさしい農業に取り組む農業者を県知事が認証するエコファーマーの制度があるが、令和3年度は28人である。

Q オーガニックの学校給食を望む声が多数ある。導入されれば大きな消費出口となり波及効果が期待できよう。現時点の課題を伺う。

A 学校給食にオーガニックを取り入れる際の課題は、市内小中学校約9千食を賄う使用量の確保と、保護者等が負担する給食費の範囲内での食料調達、有機野菜の特徴である大きさや形が不揃いであることによる新たな作業工程への対応が考えられる。



**他の質問事項
再開発区域・医療健康子育て枠の導入機能**



村田 耕一
(公明)



富士ビレッジ中区配水場に応急給水設備を

Q 災害時の断水応急給水対応で市内6カ所の配水場には応急給水設備があるが、富士ビレッジ中区配水場にも設置するべきではないか。

A 近隣には、富士見台の高区配水場に、応急給水設備の整備が完了していることから、今のところ未整備となっているが、いつ起こるか分からない災害時に、より迅速にかつ、安定した体制での給水活動を実現するためにも、早期に設置できるように、推進していく。



広報みしまの発行回数を月1回の年間12回に

Q 自治会町内会の広報みしま配布の負担軽減のため、発行回数を現在の年間20回から月1回の年間12回へ変更することはできないか。

A 令和3年度の市民意識調査において、発行回数は今のままで良いとの回答が最も多い結果となっている。一方で、自治会町内会の皆様のご負担を考えると、引き続き発行回数のご検討が必要であると捉えている。用紙の厚さと併せて検討をしていく。

他の質問事項

富士山南東スマートフロントティア推進協議会



岡田 美喜子
(新未来21)



教職員の定期健康診断の検査項目追加

Q 教職員の悪性新生物等による休職者が増加しているが、便潜血検査等の項目が市町により違う状況にある。追加はできないか。

A 便潜血検査等の項目は、令和3年度より一般健診項目から外し、補助制度とする通知が静岡県教職員互助組合からあった。今後については、教職員の健康保持、増進を最優先に、対象外となった健診項目の受診状況を注視しながら検討していきたいと考えている。

保育所の気になる子の増加に伴う支援策

Q 診断書などで障がい等が明らかになっている子の他にも気になる子が増えている。公立及び民間保育所へ保育士を加配できないか伺う。

A 公立は保育現場から意見を吸い上げ、実際に園児の状況を確認したうえで加配保育士の配置に努め、民間は市独自の補助金を活用して保育士の加配に充てていただいている。今後も状況に応じた手段・方法により、保育所等への適切な支援に努めていきたい。



**他の質問事項
眺望地点等にスマホスタンド設置の可能性**



土屋 利絵
(改革みしま)



子ども配食支援事業の対象拡大と無料化

Q 非課税世帯に限るとデリケートな事業となり、市民の方に広がらない。課題を抱えるご家庭すべてを対象にする必要性があるのでは。

A 非課税世帯であることをその利用条件とすることを強く印象付けてしまうおそれのある表記によって、事業に対する正しい理解を妨げてしまうことも憂慮されるため、そのような誤解を与えるおそれのある表現については、適切な見直しを図り引き続き事業を推進する。

今いる場所で、最後まで過ごせるように

Q 小規模老人ホームを市内に点在させながら、そこにサポートセンターを併設させ、自宅で安心して過ごせる体制を作るのはいかがでしょうか。

A 地域包括ケアシステムの推進に向け、小規模事業所のアットホームさを生かした安心の体制を構築するには、多様なサービスの各地域へのバランスよい配置が理想となる。次期計画において、利用者ニーズや事業者の意向を確認し、整備の方向性を検討していく。





総務委員会と福祉教育委員会は、それぞれのテーマについて市内団体との意見交換会形式による議会報告会を行いました。

福祉教育委員会 (11/8)

市内5カ所の地域包括支援センターの各センター長と、意見交換を行いました。

センター長から高齢者の日常生活における現状と課題について報告があった後、活発に意見が交わされました。



総務委員会 (11/5)

市内の4団体と、オンライン形式で、男女共同参画についての現状と課題をテーマに意見交換を行いました。いろいろな立場や世代の方に、率直なご意見をいただきました。



PICK UP

議会報告会を行いました

常任委員会+議会運営委員会 WEB報告会を開催

例年、市民の皆さまとの意見交換の場としてワークショップ形式での「議会報告会」を開催していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、YouTubeで動画を視聴していただき、皆さまの意見をお寄せいただく、WEB報告会という形で行いました。

いただいたご意見、ご要望の中から、特に重要と思われる3件について市長へ要望しました。(詳細はP12をご覧ください。)

担当▶総務委員会

男女共同参画

これからの男女共同参画社会をどう進めるか。

今回は、

- ①政策決定過程への女性参画拡大
- ②職業生活における女性の活躍推進
- ③家庭における男女共同参画の推進について考えました。

担当▶福祉教育委員会

高齢者の日常生活における地域福祉の課題

～高齢者への寄り添い方～

三島市の高齢化率は29.4%。高齢者への寄り添い方について身近なことから考えましょう。

今回は地域共生社会のモデル地区・徳倉の事例や、伊豆市にある施設の取り組みも紹介しました。

担当▶経済建設委員会

下水道の料金改定と広域化

下水道料金は、令和6年度に30%値上げを予定しているほか、国の要請に基づき広域化の検討がされています。下水道の今後のあり方について、ご意見を伺いました。

担当▶議会運営委員会

議会基本条例の検証

「議会基本条例」とは、議会活動の原則など、議会の基本的な事項を定めた条例です。平成31年に、三島市議会はそれまでの議会改革のまとめとしてこの条例を制定しました。施行から3年目を迎え、初めて実施した議会基本条例に沿った取り組みの検証内容をお知らせしました。

議会報告会の概要や要望事項の詳細は市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



コロナ禍を考慮し、YouTubeによるWEB報告を行いました。(11/9～12/12) いろいろな意見をお寄せいただきありがとうございました。



市民と直接かかわりのある情報は、SNSを活用して広い範囲に公開し、意見を求めてはどうか。

直接議員に会って話してもらえる報告会が一番よいが、こういうWeb方式もよいと思った。後で見直しもできるので継続してほしい。



市政への監視機能は一定程度果たされているという評価だが、議員により不十分という評価もあったとのこと。市民の代表として、市政の監視機能を果たすことは重要な役割と思う。ぜひ◎の評価を目標に対策を講じてほしい。



下水道料金の令和6年度からの30%値上げは妥当と考えるが、コロナ禍の影響もあるため、家計への影響を考慮し状況を見て段階的な値上げを検討できないか。



議会に対する意見の窓口として、議会のホームページ上に独自の意見聴取窓口の設置が必要とあるが、ぜひ設置してもらいたい。



三島市議会ダイバーシティ推進検討

特別委員会を設置しました

三島市議会では、令和3年9月定例会において特別委員会を設置しました。今後検討していく内容の一部をご紹介します。

国において「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の改正法が令和3年6月10日に成立し、女性の政治参加を進めることを目的に、国と地方の双方において環境整備に努めることが定められました。三島市議会においても男女を問わず活躍できる場の環境整備に努めてきました。現在、男女という社会的性別（ジェンダー）の視点だけでなく、ダイバーシティを理解し、その多様な人材の能力が最大限に発揮できるように配慮し、それぞれの立場で活躍できる議会が求められています。多様な人材が議員として議会活動を円滑に行うことができよう、特別委員会を設置することにより、必要な条件や配慮等について、検討していきます。

ダイバーシティとは…
多様性を意味します。社会において、性別、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観がさまざまな属性の人が集まった状態のことを表しています。



特別委員会において検討していく主なポイント

- ・妊産婦およびその配偶者の議員等への配慮
- ・子育て中の議員への配慮
- ・家族の介護および看護等を担う議員への配慮
- ・車いす等を利用する議員への配慮
- ・視覚等に障がいをもつ議員への配慮
- ・聴覚および言語等に障がいをもつ議員への配慮
- ・性の多様性への配慮
- ・出産および育児、介護等に伴い本会議を欠席する議員の報酬等の支給割合
- ・ハラスメントの防止



特別委員会メンバー

委員長 鈴木文子 副委員長 甲斐幸博
委員 野村諒子 岡田美喜子 石井真人
大石一太郎 河野月江
オブザーバー 川原章寛 議長
中村仁 副議長



議会報告会を行った中で、市民からいただいた意見のうち、特に重要と思われるものについて、市長へ要望しました。

なお、要望への回答については議会だより5月1日号に掲載する予定です。



総務委員会

令和2年度で男性の育児休業補助金制度が終了となったが、改めてより規模の小さい事業所に向けた育児休業取得促進の支援制度を創設するとともに、先進的な取り組み事例を発信すること。また、三島市の男性職員育児休業取得率20%の目標達成に向けて、市長からの明確なメッセージの下、具体的な施策を展開するとともに、女性職員の働きやすさ向上のためのスキルアップ支援などの環境整備を進めていくこと。

福祉教育委員会

社会からの孤立や孤独死につながる独居高齢者のセルフネグレクト問題が浮上しており、予防の視点に立った総合的な支援が急務である。よって、65歳前からの支援開始も含めて、セルフネグレクトに関する調査を行い、地域包括支援センターへの情報提供・協力連携をもって一人一人に寄り添った支援体制を構築すること。

経済建設委員会

令和6年度以降の下水道料金改定について、段階的・連動的な改定を検討し、経営戦略に示した上で、市民生活に与える影響を考慮して丁寧な説明・周知を行うこと。また、下水道の広域化に向けた可能性調査における比較検討の際には、長伏浄化センターをポンプ場に切り替えた場合に、跡地利活用の可能性が生じる点を踏まえて議論すること。



議場を見学!



徳倉幼稚園の年長さんが、議場に見学に来てくれました😊

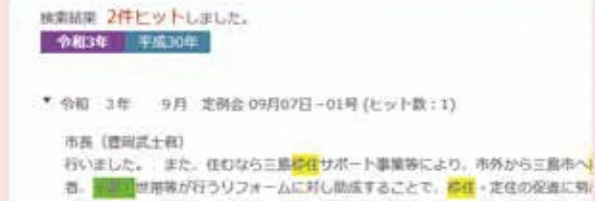
会議録検索システムの使い方

Q 「会議録検索システム」とは？

A 会議録検索システムとは、本会議や委員会の会議内容を文字で記録した“会議録”を検索できるシステムのことで、キーワードや議員名、開催年などの条件を指定して検索し、該当する会議録を閲覧することができます。

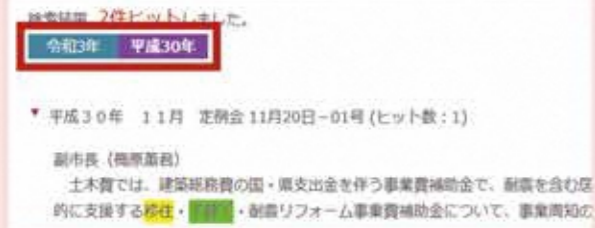


STEP 5
検索ボタンをクリックすると、下部に検索結果が開催年ごと表示されるので、閲覧したい発言を選択します。



該当キーワードがマーカーで表示されます。

赤く囲まれた部分で開催年を選択することができます。



STEP 3
最初のページの右上にある検索ボタンをクリックします。



STEP 4
キーワードや議員名、開催年等を指定して検索ボタンをクリックします。



STEP 6
検索結果から閲覧したい発言を選択すると、該当キーワードを含む発言の全文が表示されます。前後の発言も表示されるので、そちらもあわせてご覧いただけます。

◎市長（豊岡武士君） ただいま上程になりました認第1号から認第8号までの令和2年度一般会計及び7件の特別会計等決算につきまして、その概要を申し上げます。

令和2年度の新年予算編成時における我が国の経済情勢は、生活に直接影響する消費税率引上げによる消費マインドの動向などに弱さが残るものの、各種経済政策の効果もあり、引き続き緩やかな景気回復が続くものと期待された一方、新型コロナウイルス感染症の影響が国内でも顕在化し始めた状況がありました。

三島市におきましては、歳入の根幹となる市税を前年並みと見込み、分担金及び負担金で、幼児教育・保育の無償化に伴う減収や国の補正に合わせ事業を前年度に前倒ししたことによる繰越金の減などがあるものの、消費税増税による増収や駅前再開発に係る寄附金の計上等から、過去最大規模の予算編成となりました。

令和2年度の予算執行段階においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、当たり前だと思われていた日常がガラガラと音を立てて崩れていくような感覚すら覚える、まさに未曾有の状況でありました。人との接触は制限され、市の事業も中止や縮小を余儀なくされる中ではありましたが、第4次三島市総合計画10年間の最終年度として、市民、団体、事業者等の皆様と共に培ってまいりましたガーデンシティみしま、スマートウェルネスみしま、コミュニティづくりの3本の柱を支えとし、ぶれることなく市政発展に邁進をいたしてまいりました。

この令和2年度決算提案に当たり、当初予算に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、刻々と変化する社会経済情勢に的確に対応するため、専決処分を含む11回にわたる補正予算を経て、三島市の発展や市民の健康と安全・安心につながる多くの施策を実施できましたことは、議員の皆様御理解と御協力、また、市民の皆様熱い御支持と御支援によるものと心より感謝を申し上げる次第でございます。

それでは、一般会計につきまして、決算の概要を申し上げます。

議決予算額に前年度からの繰越事業費を加えました最終予算額544億9,201万4,400円に對しまして、歳入決算額は514億2,115万2,847円、歳出決算額は502億1,819万1,771円となっております。

また、形式収支から令和3年度に繰り越した事業の繰越財源を差し引いた実質収支は9億3,148万1,837円の黒字となっております。次に、歳入決算の主なものについて申し上げます。

STEP 1
② 三島市議会ホームページに表示されている「会議録検索」をクリックします。

【パソコンの画面】



【スマートフォンの画面】



スマートフォンの場合は、最下部までスクロールすると会議録検索のアイコンが出てきます。

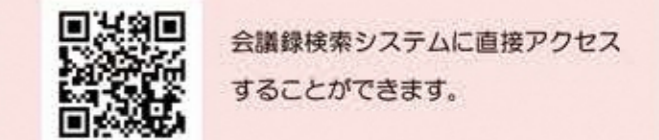


STEP 1
パソコンやスマートフォン等、インターネットに接続できる環境をご用意ください。



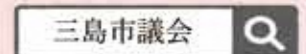
STEP 2
QRコードの読み取り、または三島市議会のホームページから会議録検索システムへアクセスします。

QRコードからアクセス



三島市議会ホームページからアクセス

① 下記のQRコードの読み取り、または「三島市議会」と検索し、三島市議会ホームページへアクセスします。



表紙の写真について

三島では宿場町の時代から寄席や芝居小屋が立ち、にぎわっていたそうです。大正時代（1912～1926）には、六反田（現在の広小路町）の歌舞伎座をはじめとして、市内には5館もの劇場がありました。表紙は当時の歌舞伎座の写真です。品のある芝居小屋として知られ、テレビやラジオがない時代に映画や芝居を観覧でき、庶民の娯楽の場として親しまれましたが、惜しくも、昭和16年に火災で焼失してしまいました。

また、今号の表紙の三島柄は、古典柄の「華文」と新柄の「かわせみ」を組みあわせていますので、こちらにもご注目ください。

議会だより編集委員会一同



議会の活動

10月

- 1日 議会だより編集委員会
- 5日 福祉教育委員会
オンライン視察
- 13日 議会運営委員会
- 21日 議会報告会運営会議
各派代表者会議
議員説明会
- 28日 議会運営委員会
議会報告会運営会議

11月

- 2日 東部地区6市4町議会
議長連絡会
- 4日 議員説明会

5日 議会報告会

8日 議会報告会

11月9日～12月12日
議会報告会
(WEB報告会)

10日 ダイバーシティ
推進検討特別委員会

18日 各派代表者会議
議会運営委員会

25日～12月10日
11月定例会

25日 各派代表者会議
本会議（議案審議）
議会だより編集委員会

12月

2・3・6・7日

本会議（一般質問）

3日 各派代表者会議
議会運営委員会

10日 本会議（議案審議）

14日 議会だより編集委員会

15日 経済建設委員会

17日 議会運営委員会

21日 議会報告会運営会議

23日 ダイバーシティ
推進検討特別委員会

2月定例会のお知らせ

2/15(火)

24(木)・25(金)

2/28(月)～3/4(金)・7(月)

3/9(水)～11(金)

14(月)

16(水)

本会議(議案審議)

本会議(代表質問)

常任委員会(予算審査)

本会議(一般質問)

本会議(一般質問予備日)

本会議(議案審議)

本会議は午後1時、常任委員会は午前10時の開会予定です。(日程は変更になる場合があります。)

議会だより 編集委員会

委員長：宮下 知朗

副委員長：沈 久美

委員：甲斐 幸博

村田 耕一

石井 真人

河野 月江

佐藤 寛文